

2025年度 研究活動等支援申請調書

(支援が決定した団体のうち5万円を超える申請があった団体ならびに地形図支援を申請した団体)

団体の名称	<b>No.1001 宮城県美田園高等学校</b>
申請概要	本校地歴・公民科主催「地域見学会」の実施 ①地域見学での集団行動を通して、生徒相互の交流と親睦を図る。②地域の施設見学や体験学習により身近な地域の歴史・文化・産業等について学び、自らの情報や視野を広げる機会とする。 【内容】①ニッカウキスキー仙台工場で工場立地条件と工場運営方針を伺い、特に工場と川との関係性や創業者の竹鶴氏の想いを理解した。(70分) ②定義山西方寺周辺を景観観察し、地形図から推察できる地域性を考察した。 ご提供いただいた1/2.5地形図「定義山」を使用し、徒歩にて定義山西方寺周辺の景観観察を実施した。
支援内容 (地図)	<b>1/2.5万地形図「熊ヶ根」、「定義山」(各35枚) 計70枚</b>

1

団体の名称	<b>No.1008 杉並区立阿佐ヶ谷中学校</b>
申請概要	①修学旅行事前学習 京都地域の文化的・自然的特性を地形図から把握し、現地での行動計画に役立てた。 ・ホテルから主要な史跡・名称までの距離の算出 ・史跡・名称の標高 ・京都の地形の特徴の読み取り
支援内容 (地図)	<b>1/2.5万地形図「京都東南部」 90枚 1/20万地勢図「京都及大阪」 10枚</b>

2

団体の名称	<b>No.1015 藤沢市教区文化センター</b>
申請概要	①地形図の基本的な見方・高等学校での授業でどう指導するか ②デジタル地図と紙地図の比較、それぞれの良さをどう活用するか
支援内容 (地図)	<b>1/2.5万地形図「小値賀島」 25枚</b>

3

団体の名称	<b>No.1016 茨城県立つくばサイエンス高等学校</b>
申請概要	(1)生徒の現状 これまで地図全般に親しんできた様子はなく、いわんや2万5千分の1地形図には触れたことさえない。地図を使用するうえで「文字が多くてわかりづらい」という声をよく耳にすることから、文字以外の地図記号に着目して地図を読む習慣はないと推測される。そのため、地図帳で該当箇所をやみくもに探そうとしたり、地理院地図を使用するとき、空間全体のなかでどのあたりを見ているのかわからずに、混乱したりすることが多い。 (2)課題 地図の読み方が備わっておらず、地図から必要な情報を読み取る能力が不足している。そのため、縮尺の違いによる表現の変化や地図記号の意味、その他のルール、さらには地形図の作製過程など、基礎的な事柄から学習することが求められる。 以上のことを解決するため、学校図書館に地形図等(刊行地形図、旧版地図、空中写真)をセットにし、配備し、①の授業に利活用するとともに、生徒誰でもが、いつでも学校図書館で地形図等を閲覧し、地形図等を学習できる環境を整備する。 ①授業「地理総合」において、 ・茨城県南部を対象とした数種類の地図・空中写真を活用することで、学習内容を身近に感じられ、深い学びにつながるような工夫をする。縮尺の異なる地図を見比べながら読図を重ねることによって、地図読解力を向上させるとともに、自ら地理的事象を考察する。 ・典型地形をテーマに、地形図および地勢図を活用することで地図読解力の向上を図る。典型地形に関して深く学習することは、日本の国土の在り方を考察する一助となり、そのためには教科書に掲載されているイラストや空中写真だけでなく、各種の地形図および地勢図を活用する。
支援内容 (地図)	<b>1/500万「日本とその周辺」 1枚 1/100万「日本Ⅱ」 1枚 1/50万地方図「関東甲信越」 1枚 1/20万地勢図「水戸」「宇都宮」「千葉」「東京」「一関」「岡山及丸亀」(各1枚) 計6枚 1/5万地形図「磯浜」「銚田」「石岡」「玉造」「真壁」「土浦」「銚子」「潮来」「八日市場」「佐原」「成田」「龍ヶ崎」「小山」「水海道」「古河」「鴻巣」「野田」「飛騨古川」「砂川」「広島」「鹿児島」「開聞岳」(各1枚) 計22枚 1/2.5万地形図「磯浜」「徳宿」「荒野」「銚田」「武井」「小鶴」「下吉影」「岩間」「石岡」「常陸玉造」「西蓮寺」「常陸高浜」「木原」「加波山」「柿岡」「真壁」「筑波」「常陸藤沢」「土浦」「上郷」「谷田部」「鹿島矢田部」「銚子」「常陸鹿島」「神栖」「潮来」「佐原東部」「小南」「麻生」「佐原西部」「江戸崎」「下総滑川」「成田空港」「多古」「成田」「酒々井」「牛久」「龍ヶ崎」「藤代」「取手」「下館」「下妻」「小山」「諸川」「石下」「水海道」「下総境」「宝珠花」「古河」「栗橋」「守谷」「京都西北部」「石和」「白根」「沼田」「上総片貝」「三国」「千倉」「宮津」「函館」「光」「与論島」「船見」「草津」「湯江」(各1枚) 計65枚 <b>合計96枚</b></b>

4

2025年度 研究活動等支援申請調書

(支援が決定した団体のうち5万円を超える申請があった団体ならびに地形図支援を申請した団体)

5

団体の名称	<b>No.3001 札幌市教育地図研究会</b>
申請概要	市内の児童生徒による社会科・生活科の学習や環境学習をはじめとした総合的な学習の時間等の場として、児童生徒の日常の学習への意欲を高め、さらには自発的で積極的な意思による研究活動の交流の場となることを願って開催される地図作品展、「第46回札幌市児童生徒社会研究作品展」の運営資金。
支援内容 (資金)	<b>100,000円</b>

6

団体の名称	<b>No.3002 環境地図教育研究会</b>
申請概要	小・中・高校の児童生徒を対象に、身のまわりの環境について関心を持ったこと考えたこと調査したことを地図にすることを通して、地図や環境に対する関心を深めてもらうために開催される地図作品展、「第35回私たちの身のまわりの環境地図作品展」の運営資金。
支援内容 (資金)	<b>100,000円</b>

7

団体の名称	<b>No.3004 いばらき児童生徒地図研究会</b>
申請概要	茨城県の小・中学生の身のまわりの環境や地域の姿を自ら観察、調査し、それらを地図として表現することにより、環境や地図さらには地域に対する関心を深めることを目的とする地図作品展、「第26回いばらき児童生徒地図作品展」にかかる経費。
支援内容 (資金)	<b>100,000円</b>

8

団体の名称	<b>No.3005 多摩市</b>
申請概要	「第29回多摩市身のまわりの環境地図作品展」の運営資金。
支援内容 (資金)	<b>93,570円</b>

9

団体の名称	<b>No.3006 とやま地図作品研究会</b>
申請概要	富山県内の小・中学生が身のまわりの環境や地域の姿を自ら観察、調査し、それらを地図として表現することにより、環境や地図さらには地域に対する関心を深めるために行う作品展。「第19回児童生徒地図作品展」の実施に必要な資金。
支援内容 (資金)	<b>55,000円</b>

10

団体の名称	<b>No.3007 岐阜県図書館</b>
申請概要	児童生徒の自主的な研究活動を奨励し、地図に関する興味や関心、活用能力を高めることを願って開催される地図作品展、「第31回児童生徒地図作品展」の実施に必要な資金。
支援内容 (資金)	<b>94,510円</b>

11

団体の名称	<b>No.3010 広島県地理作品展運営委員会</b>
申請概要	小・中・高・特別支援学校等の児童生徒に、地図ならびに地理作品の制作を通して、地図に対する正しい理解を持たせると共に、それを活用させる能力を身につけさせることを目的に開催されている地図作品展、「第64回地図ならびに地理作品展」にかかる経費。
支援内容 (資金)	<b>90,000円</b>

12

団体の名称	<b>No.3012 徳島地理学会</b>
申請概要	徳島県内の小・中・高の児童生徒が作成した地図類を募集し、優秀な作品を展示して、地理教育・地図教育の発展を図ることを目的に開催されている地図作品展、「第33回児童・生徒の地図作品展」にかかる経費。
支援内容 (資金)	<b>90,000円</b>

13

団体の名称	<b>No.3013 全国児童生徒地図作品展連絡協議会</b>
申請概要	全国児童生徒地図優秀作品展は全国の運営団体が各地で開催した地図作品展の中から優秀作品を展示紹介するもので、優秀作品の中から特に優れた作品2点を対象として「国土交通大臣賞」、「文部科学大臣賞」の大臣表彰式を行う。その表彰式において、受賞者が大臣にプレゼンをするために必要な資金。
支援内容 (資金)	<b>252,920円</b>

## 2025年度 研究活動等支援申請調書

(支援が決定した団体のうち5万円を超える申請があった団体ならびに地形図支援を申請した団体)

14

団体の名称	<b>No.5004 日本地図学会</b>
申請概要	日本地図学会は地図学の発達・普及を促進するため、地図学の理論・地図の編集・印刷などの技術向上に資するとともに、地図学発達史、読図・利用・教育などの各分野の発達に寄与することを目的として、研究会の開催、講演会の開催などを行っている。これらの行事の費用の一部に充てるための年会費、・定期大会への協賛金、・地図の教育、普及に熱心な小、中、高の教員等を表彰するための副賞費にあてる費用。
支援内容 (会費)	<b>170,000円</b>

15

団体の名称	<b>No.5005 公益社団法人 日本地理学会</b>
申請概要	日本地理学会は、地理学の進歩・普及を図ることを目的として設立された団体であり、地理学に関する研究・調査・機関誌その他図書の発行、研究会、講演会等の開催を行っており、それらの活動の一部費用として、年会費。
支援内容 (会費)	<b>60,000円</b>

16

団体の名称	<b>No.5006 一般社団法人 日本リモートセンシング学会</b>
申請概要	(一社)日本リモートセンシング学会は、リモートセンシングに関する研究の連絡・提携を図り、学問・技術の発展・普及に寄与することを目的として設立され、学会誌の発行、各種研究会や講演会を開催して学問の普及に勤め、会員相互の親睦・連絡を図っている団体である。それらの活動の一部費用として、年会費。
支援内容 (会費)	<b>70,000円</b>

17

団体の名称	<b>No.5008 日本測地学会</b>
申請概要	日本測地学会は測地学およびその関連分野の研究の発展を図るため、・講演会の開催、・「測地学会誌」の刊行、・若手研究者の奨励のための日本測地学会賞坪井賞の授与、・最新の測地学の成果を一般の人たちに知らせるための公開講座の開催、・測地学に興味を持つ学生のためのサマースクールの開催、・関連する学会と連携して、シンポジウムや合同講演会の開催などの活動を行なっている団体。その賛助会員費。
支援内容 (会費)	<b>80,000円</b>

18

団体の名称	<b>No.5010 一般社団法人 地理情報システム学会</b>
申請概要	地理情報システム学会は、地理情報システム(GIS)の研究と普及を行い、GISに関する研究者、実務者等の研究の発展を推進し、学術及び科学技術の振興、発展に寄与することを目的としている。その活動の資金となる、・年会費、・2023年度初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰「日本地図センター賞」の表彰。
支援内容 (資金・会費)	<b>100,000円</b>

19

団体の名称	<b>No.5013 国際地理オリンピック</b>
申請概要	国際地理オリンピックは、世界の高校生が地理の知識や技能を競う大会で、地理学の振興と地理教育の促進、および青少年の相互理解を図る目的でIGU(国際地理学連合) 地理オリンピック委員会の下でスタートした。 2025年7月26日～8月1日開催の「第21回国際地理オリンピック・バンコク大会」に派遣する4名の代表選手の交通費の一部を支援
支援内容 (会費)	<b>80,000円</b>

20

団体の名称	<b>No.5015 地理教育研究会</b>
申請概要	地理教育研究会は、学校の地理教育に携わる教員のほか、大学生や一般の方の参加もある学術研究団体。学術大会運営の費用。
支援内容 (会費)	<b>100,000円</b>